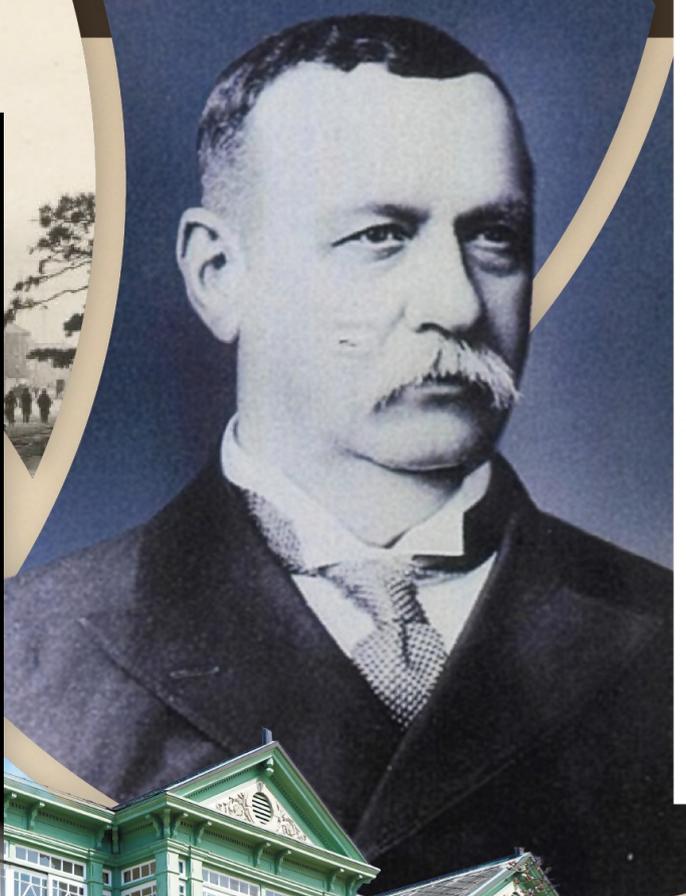


神戸外国人墓地セミナー



日本と真摯に向き合った英国人、  
そして彼を支えた人物たち



神戸居留地 **29** 番の

# E. H. Hunter

Edward Hazlett Hunter

エドワード・H・ハンターは、神戸港が開港した  
1868 年に来神し、日本人の愛子と結婚しました。

1874 年には居留地 29 番で商会を立ち上げ、その後、大阪鉄工所（1881 年創業／日立造船を経て現・カナデビア株式会社）をはじめ、多くの企業を興して日本の産業発展を力強く牽引しました。ハンター邸やハンター坂に名を残す彼は、神戸の近代化を語るうえで欠かせない存在です。その歩みを支えたのが、右腕といわれた秋月清十郎や、長男の竜太郎、次男の範三郎です。彼らは居留地の内外で奔走し、事業の拡大と運営を現場から支えました。1917 年のハンターの葬儀には日本人も多数参列し、居留地史上最大規模のものとなりました。本講演では、ハンター本人の功績に加え、彼を支えた人々の働きと、その意義もあわせてご紹介します。



**講師** 山本 理（やまもと おさむ）  
熊本県出身  
カナデビア株式会社 顧問

慶応義塾大学法学部を卒業後、1978 年 4 月に熊本県に採用される。2011 年 4 月には環境生活部環境局長に就任し、環境行政を統括。2013 年 4 月からは県北広域本部長として地域行政の推進を担った。2015 年 4 月には会計管理者兼出納局長を務め、県の財政・会計業務を統括。2016 年 4 月より日立造船株式会社の顧問に就任し、これまで培った行政経験を生かし、企業活動への助言・支援に携わっている。  
< 2025 年度末退職予定 >

**日時**

**2026.4.18** (土)  
**14:00 ~ 15:30**

**場所**

神戸市外国人墓地 礼拝堂

**定員**

40 名 (先着順)

**申込**

神戸市立外国人墓地事務所  
(☎078-341-5200) に電話  
※一組 4 名までとさせていただきます。